

三代家住宅主屋

美保関町美保関 581 番地外

[登録日]平成 29 年 8 月 23 日

正面外観



正面外観【格子】



正面外観【出桁・持ち送り梁】



◆建築年代：江戸末期/改修年（昭和 5 年）

◆構造：木造 2 階建

■概要

この建物は 3 軒分の建物を 1 軒に改修したもので、元の建物は青石畳通りから向かって左側が米子屋分家、真ん中が丸屋、右側が米子屋本家です。

三代家の先祖である米子屋は蠟燭製造販売や廻船問屋、両替商などを営むことで栄え、米子屋の名称は米子の商人と取引を行っていたことが由来です。

棧瓦や板壁、格子窓を使用し、出桁や持ち送り梁といった美保関の町家の特徴をもち、分家部分の内部においては 2 階天井材等、建築当時の姿を残しています。

かつては廻船問屋を営むなど日本海沿いの海運の拠点として栄えた美保関の歴史を語る上で貴重な建物です。

位置図

